

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	あんだんて			
○保護者評価実施期間	2025年1月18日 ～ 2025年2月20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数)	13
○従業者評価実施期間	2025年2月3日 ～ 2025年2月20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月26日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	自然豊かな環境で、自然とのふれあいや様々な活動が出来る、伸び伸びと活動が展開できる。	植物や生き物の事などを職員も興味を持ち、調べたり親しみをもって一緒に楽しめる様に取り組んでいる。	植物や生き物の事をもっと知る為に専門家から学ぶ機会を設ける。
2	季節の行事やご家族が参加できる行事を企画している。	ご家族が参加しやすい日程や行事の内容を職員で検討し、取り組んでいる。	参加が難しいご家族への関わり方を工夫する。
3	地域の皆様に受け入れてもらい、地域行事や学校行事に参加できる。	積極的に地域の方との交流を行い、子ども達の事を分かってもらう。	年間行事の中に地域の皆様との交流行事を組み込んで定期的に交流できる様に取り組む。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	開設してまだ1年半なので、職員が子どもを見る視点や発達の視点などに未熟さがある。	子どもから学ぶことが多いと思われるので、日々の研鑽が必要だと思う。	日々の振り返りの中で様々な研修を組み合わせ実践に基づいた取り組みが必要だと思う。
2	様々なマニュアルにも基づいた研修が計画通りに実施することが難しい。	職員数が少ないため、日々の支援が優先されて計画通りに実施することが難しい。	計画の立案の段階で実施可能な時期を設定し、担当者を決めて実施できるように取り組む。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 あんだんて

2025 年 2 月 28

公表日 日

利用児童数 18

回収数 13

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13				・部屋が広く、のびのびと活動できる。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12			1		保護者会の中で職員の配置基準や配置数についてお伝えする機会を設ける。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13				・きちんとスペースが分けられており、子どもたちも迷うことなく行動できていると思う。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12	1			・活動する部屋と休憩部屋が分かれていて切り替えができます。 ・いつも清潔で消毒や換気をして下さり、子どもも安心して過ごしています。	普段の活動の様子を具体的に分かりやすくお伝えする様に取り組みます。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13				・製作など本人がやりきるまで見守って下さっていてベースに合わせて支援している。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13				・モニタリングで本人の現状などを知り、話し合える。 ・目標などを共有できる。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13				・本人に合った支援をしていただくことで、本人にもストレスなく大きく成長してくれています。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	1		1		活動プログラムの内容を定期的具体的に伝える機会を設けます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	13					
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	13					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	1			・こんな時にどうしたら良いのかをきちんと教え、とても助かっています。	面談や助言は随時受け付けているが、年間計画の中で面談実施の時期を設けて定期的に面談を行える様に取り組みます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13				・クリスマス会などのイベントがあり、お祭りのお店では、実際の祭りで人が多く出店に並んだ理とハードルが高いのですが、あんだんてで経験ができて良かったです。 ・公開療育が年2回あり、あんだんての様子を保育所の先生に見てもらい、情報交換をしてもらってありがたい。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13				・ラインで連絡が取り合えるので、すばやく情報がつかめて助かっています。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13				・月のお便りなど写真が多く使われていて見やすく、活動内容が具体的に知れて、写真を見て親子でも振り返ることができる。 ・給食の便りも子ども達の好きなメニューの紹介などがあり、参考にさせてもらっています。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	3		2		・各種マニュアルを保護会を開催しお伝えしたうえで、配布しようと思います。 ・訓練を実施したときは報告致します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	1		2		非常災害の発生に備え、年間で必要な訓練計画を立案し実施いたします。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	1		1		事業所では安全を確保する支援は行っていますが、周知できていないので保護者会を開催し周知し、支援を行います。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11			2		怪我等は、小さなことまで連絡やはっすいした状況等の説明をさせていただいていますが、これまで以上に怪我等のない支援を心がけます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13				・保育所では集団行動に緊張の日々の様ですが、あんだんてでは表情が柔らかく、伸び伸び過ごしている。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13				・いつも楽しそうに通所しています。 ・通所を楽しみにしていて朝の来所がスムーズにできている。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	13				・先生方一人ひとりが明るい笑顔で温かく接してくれ、本人や私たちにとっても居場所となり、ありがたいです。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		あんだんて					公表日 2025年2月28日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		玄関の入り口が段差があるため、足台を設置している。子ども用のトイレが和式なので、抵抗のある子どもには大人用のトイレを使用してもらっている。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		ドアを開め切ることによって個別の部屋ができる様になっている。			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者に評価してもらい、職員全体で共有し業務改善を検討している。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日の振り返りの時間を設けて、意見を出してもらい、改善できる業務は積極的に改善している。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			第三者による評価を定期的に行う様に計画する。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		支援に必要な事、大事なことはタイムリーに学べる様に、ミニ研修会の機会を設けている。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムをホームページで公表し、保護者に配布している。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○					
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		子どもの発達課題をしっかりと把握し情報共有するために毎日の振り返りは必ず行っている。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			子どもによって使用できるアセスメントツールが異なるため標準的で簡易的なアセスメントツールを検討する。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		出来るだけ具体的で、分かりやすい支援内容を設定するようにしている。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		出来るだけ立案は全員で立案する様にしている。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		季節や子どもの好みや楽しめる物を織り込んでプログラムが固定化しない様に工夫している。			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別で支援した方が良い課題と集団でしか学べないような課題を組み合わせる支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝朝礼で打ち合わせを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎日振り返る時間を設定し支援の振り返りを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		個人的な見方だけではなく、振り返りのときの他の職員の情報を共有しながら記録を取っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			関係機関との連携して支援を行う体制は整えているが、機能する体制にしていける必要がある。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保育所等訪問支援や公開療育を行い、支援内容や情報共有と相互理解を図っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者と学校訪問に向き、支援内容等の情報きゅうと相互理解を図っている。 移行支援シートを活用している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)		○		児童発達支援センターのスーパーバイズの必要性を感じていないので、必要な場合は積極的に受けてみたい。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		並行通園先の小規模な保育所との交流や地域の学校の児童、生徒たちと地域行事に参加している。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ペアレント・プログラムを実施している。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			具体的に分かりやすく説明する様に取り組んでいきたい。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		作成する前に、ご家族の意向を確認して子どもの最善の利益の考慮して作成している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的に面談も行うが、随時相談は受け付けている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		季節に合わせた行事にはご家族で参加できる様にして、保護者やご兄弟も交流できる企画を設けている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談や申し入れには原則その日のうちに対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月お便りを発行している。定期的にホームページにブログを配信している。 活動の様子はlineでアルバムを作って配信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		子どもの発達に合わせて分かりやすい方法を考えて支援している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		地域の方達との交流を1年に1～2回行っている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			各種マニュアルを分かりやすい場所に掲示する。 訓練計画を立てて実施する。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			地域の方たちと連携して必要な訓練を行いたい。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		最初の面談時に確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		最初の面談時に確認している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			保護者会を開催しご家族周知し、連携を強化する。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットは職員全員で確認し、再発防止に向けて取り組んでいる。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		どんな事例が虐待に繋がるのか。支援の方法を検討し虐待防止に繋げている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		保護者には「やむを得ない場合」の説明を十分に行い承諾書を書いてもらっている。	